

米の戦争に地球の裏まで

安部政権がすすめる「戦争立法」は、世界中で米国の戦争に参加・支援する法制、憲法9条の全面破壊です。

「戦争立法」の三つの大問題

第一 「戦地」まで行って軍事支援

米国が世界のどこであっても戦争を始めたら自衛隊が「戦闘地域」にまで行って軍事支援するものです。これまでの▽戦闘地域には行かない▽武力行使はしない——の二つの「歯止め」を取り外し、戦地での米軍支援を可能にします。さらに重大なのは、米軍兵士などの「捜索・救出」は「戦闘現場」でも活動を継続すること。「殺し殺される」危険が飛躍的に高まります。

第二 PKO法改定で戦乱場所に自衛隊を派兵

PKOとは関係のない活動にも自衛隊を派兵する仕掛けがつくられています。戦乱が続いているようなところに、自衛隊を派兵して、武器の使用も自己防衛だけでなく、任務遂行のための使用も許されるようにするというものです。

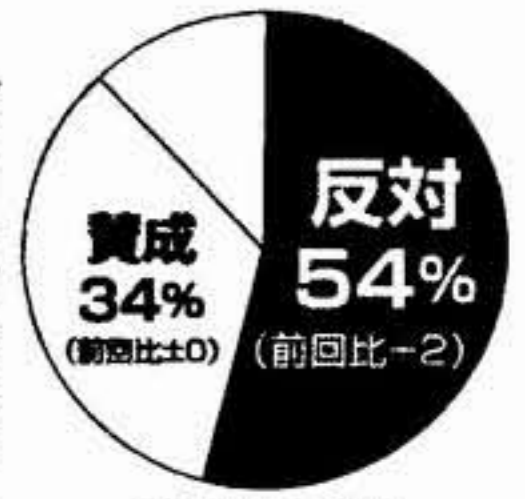
第三 無法な侵略戦争にも参戦

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出すものです。大問題は、集団的自衛権の発動は、とき々の政権の判断で無限定に広がることです。そうすれば、「集団的自衛権」でなく「集団的侵略」です。

「戦争立法」で自衛隊はこんなことが可能に

| | |
|--------|--|
| グレーゾーン | 米軍など他国艦船の防護ができる |
| 後方支援 | 米軍の戦争をいつでも、どこでも支援できる 「捜索・救助」は「戦闘現場」でもできる |
| PKOなど | 「任務遂行」のための武器使用ができる |
| 集団的自衛権 | 「新3要件」を満たすと判断すれば、日本に対する武力攻撃がなくても、米国の戦争に参戦できる 米国の先制攻撃戦争にも参戦できる |
| 在外邦人救出 | 武器使用を伴う救出ができる |

今国会成立、過半数の反対



「毎日」4月20日付



「日経」4月20日付

安保法制

「とんでもない暴挙」「大きな過ち」

自民党幹事長経験者の野中広務、古賀誠両氏は、安倍政権がすすめる集団的自衛権行使容認

野中氏「自衛隊を海外に出し、活動範囲を広げたら必ず戦死者が出る」「大変大きな過ちを犯そうとしている」「本当に戦後70年は何だったんだと。悔しくて悔しくて、夜も寝られないほど悔しい」

古賀氏「集団的自衛権の議論から大きく踏み越えている」「限

自民党元幹事長 野中・古賀氏が批判

の安保法制の与党合意について「とんでもない法制化」「暴挙」などと強く批判しています。

定的』と議論してきたが、とんでもない法制化がすすめられようとしている」「自民党の先生方、なんで黙っているいるんだ。良質な保守派がいっぱいいるはずだから、ここで声を出さなければ日本の平和はどうなっていくのか」(TBS 番組「時事放談」、3月29日放映)